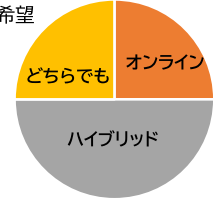


(総会后)「LRRI交流会(20230901)」参加者アンケート 集計結果

1. オンライン・会場開催のいずれをご希望ですか。

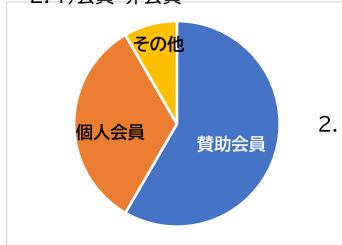
A.会場開催	B.オンライン開催	C.ハイブリッド	D.どちらでもよい
0	3	6	3

1. 開催方法希望



・会場開催へのこだわりは余りないようです。

2.1) 会員・非会員

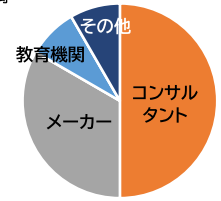


2.1) 会員ですか、非会員ですか。

A.賛助会員	B.個人会員	C.非会員	D.その他
7	4	0	1 協力会員

・参加者全員が会員。非会員へのPRの場として活用も課題。

2.2) ご所属

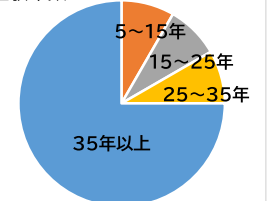


2.2) ご所属は。

A.ゼネコン	B.コンサルタント	C.メーカー	D.官庁	E.教育機関	F.学生	G.その他
0	6	4	0	1	0	1 LRRI役員

・コンサルタント・メーカーが圧倒的。建設会社0は驚きです。PRが不足？

2.3) 実務経験年数



2.3) 実務経験年数は。

A.5年未満	5年≦B.<15年	15年≦C.<25年	25年≦D.<35年	35年≦E.
0	1	1	1	9

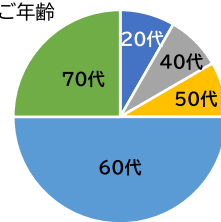
・経験豊かな方が多く、親切で協力的です！

2.4) ご年齢は。(全体平均:61歳)

A.20歳代	B.30歳代	C.40歳代	D.50歳代	E.60歳代	F.70歳代	G.80歳代以上
1	0	1	1	6	3	0

・60歳代が働き盛り！？主に実務を担う世代が加えられる工夫が必要。

2.4) ご年齢



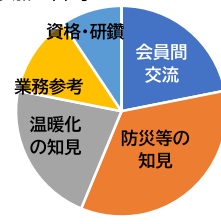
3. 本交流会にご参加の目的は。(複数回答可)

A.会員間交流	B.防災等の知見	C.温暖化の知見	D.業務の参考	E.資格・研鑽	F.その他
7	11	7	4	3	0

・会員間の交流が実現！
災・温暖化にも強い関心！！

防

3. ご参加の目的



・今回の話題提供は、昨年度ないし一昨年度、新規加入の方が中心。大きなそして独自の視点が加わり、LRRIの活動が更に活性化！

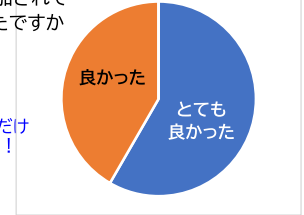
4. 話題提供者へのご質問・ご意見・ご感想は。

ご参加者	① 続きをお聞きしたい。
	② いずれの方も独自の視点と注目をもち、大変興味深い内容でした。特に、福島さまの政治経済面からのアプローチが新鮮でした。日頃、出遭わない知見や技術が融合することの意義・重要性を認識することが改めてできました。
	④ どなたの話題提供も興味深かったため、もう少し説明していただける時間があると良かった。
	⑤ いずれの話題も大きな視点に立ったお話であり、非常に参考になった。
	⑦ リスクの決定要因に対応が含まれるということを勉強させていただきました。
	⑨ 「CREST2023へのLRRIの貢献」および締めくくりの挨拶の中で安原先生が言われた、「どうも上から目線の様になってしまっただけ」という言葉に共感しました。パネラーの皆様の話は、ハード・ソフトの面でレベルが高く素晴らしいもので、たいへん勉強になりました。また、大震災が、いつどこで私たちが何をしているときに起こるか分からないことから、その時、どの様な行動をとることが自分、家族を含め地域の人々の命が少しでも救われるのが最も気になります。実際、災害予測は目をそむけたくなるもので、「その時どうすれば最もよいのか分かりません」。

5. 本交流会にご参加されて、良かったですか。

A.とても良かった	B.良かった	C.普通	D.良くなかった
7	5	0	0

5. ご参加されて良かったですか



・皆さまに喜んでいただける交流会になりました！

5.1) 良かった点は。

ご参加者	① LRRRIに対して、 具体的な提言 があった。
	② LRRRIの会員による交流だけでも 新たな発見や知見 を得ることができました。この LRRRIの集まりを大切に して行きたいと強く思いました。
	③ 適応策に関する知見や研究事例 を知ることができ、非常に有意義でした。
	④ 話題提供の内容が 最近の課題をテーマ にされていたため参考になった。
	⑤ いろんな分野の スペシャリストのご意見 を伺うことができた。
	⑦ 高所の視点 からの講演を聴講し、自分の知識の狭さか実感できました。
	⑧ 新たな発見 があり 刺激的 です。 自身の発想も広がる ので今後とも参加したいと思います。
	⑨ 知見が高まり、 大変勉強 になりました。
	⑪ みなさんの 真摯な取り組み姿勢 に 大きな影響 を受けました。ありがとうございました。
	⑫ 最新の知見 を 俯瞰的に 得ることができた。

・新しい知見を、参加者ご自身に引き戻され、『我がコト化』されておられる様子が印象的です。

5.2) 改善・工夫すべき点は。

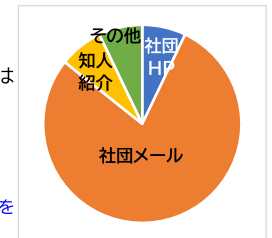
ご参加者	① 参加者の賛同を得て、できれば 討論の時間 を長くしたい。
	② オンラインで参加されている方の 発言を細やかに求め、映像(ビデオ)も通して、参加者全体が交流 できていることを実感できると更に良いと思います。話題提供の講師の方々から更にご発言を引き出せるとよかったです。
	④ 話題提供の 数 と各説明の 時間 。
	⑤ もう少し いろんな方の意見 を聞ける時間があればいいと思った。
	⑦ Zoomに 拍手の機能 があるようなので、今後はZoom機能を活用したいと思います。
	⑧ もう少し話題提供の 時間を長く ともいいと思います。

・じっくりお聴きして、より長い時間の討論を！

6. 本交流会の開催情報はどこから。(複数回答可)

A.社団HP	B.社団のメール	C.ご自分の組織	D.知人の紹介	E.上司の指示	F.その他
1	11	0	1	0	1
LRRRI役員会					

6. 開催情報はどこから

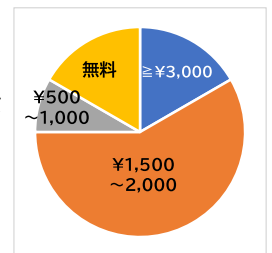


・メールの情報伝達能力を再認識しました。

7. 参加費を払うとすれば。

A. ≧¥3,000	B. ¥1,500~2,000	C. ¥500~1,000	D. 無料
2	7	1	2

7. 参加費を払うとすれば

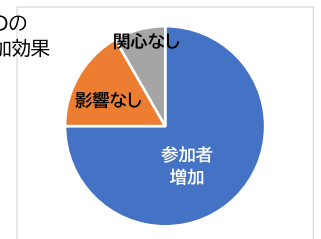


・参加費は¥1,000を越えない範囲で開催されることをご希望。

8.1) CPD取得の参加者増加への効果

A.参加者増加	B.影響なし	C.関心なし
9	2	1

8.1)CPDの参加者増加効果



8.2) CPDに関するご要望・お気づきの点

ご参加者	① 主催者として、 CPDポイントが付与できる仕組み を今後に向けて議論しておきたい。
	② CPDポイントの付与以上に、会員対象の会合なのか、 非会員も対象とするのか をより明確にすることが、参加者の方を増やす上では必要だと思えます。これだけレベルの高い内容であれば、 35名と参加者が少ない のは、も 勿体ない と思えます。
	⑨ CPD取得と交流会は分けた方が 良いと思えます。
	⑫ 技術士会のCPDに対する規制が今後厳しくなると予想されるので、 積極的にCPDのポイントが付加 されることが望まれます。

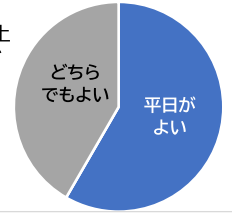
・CPDは大切、しかも、ご参加者を増やす効果が期待できます！ただし、交流会本来の目的・意義を忘れずに！！

9.1) 開催日は平日・土日、よろしいのはどちら

A.平日がよい	B.土日がよい	C.どちらでもよい
7	0	5

・やはり、平日開催が殆どで、土日開催をご希望の方は0でした。ただし、どちらでもよい方も少なくともありませんでした。

9.1)開催日は平日・土日、よろしいのはどちら

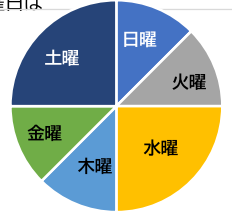


9.2) 参加しやすい曜日(複数記入可)

A.日曜日	B.月曜日	C.火曜日	D.水曜日	E.木曜日	F.金曜日	G.土曜日
1	0	1	2	1	1	2

・平日は週の半ばが参加し易く、土日開催でしたら土曜日が参加し易いようです。会議が多いのでしょうか、月曜日は0でした。

9.2)参加しやすい曜日は



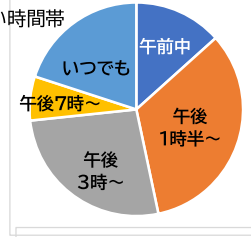
9.3) 参加しやすい時間帯(複数記入可)

A.午前中	B.午後1時半から	C.午後3時から	D.午後7時から	E.その他
2	5	4	1	3

いつでも.特になし。

・参加しやすい開催時間帯は、午後が多い結果です。

9.3)参加しやすい時間帯

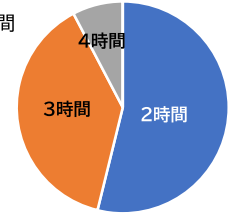


9.4) 全体の時間はどの程度(複数記入可)

A.2時間	B.3時間	C.4時間	D.6時間	E.その他
7	5	1	0	0

・上記の5.2)では「もう少し時間を長く」のお声が多かったですが、できれば2時間、長くても3時間をご希望です。

9.4)全体の時間

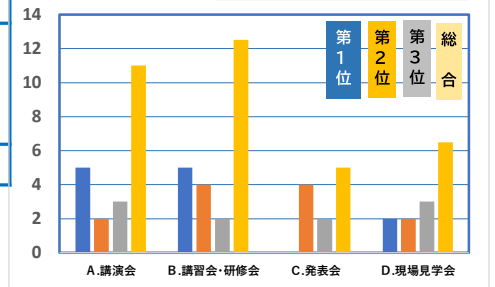


10. 当団体の催し、優先するのはどんなジャンル(複数回答可)

	A.講演会	B.講習会・研修会	C.発表会	D.現場見学会	E.その他
第1位(1.5)	5	5	0	2	0
第2位(1.0)	2	4	4	2	0
第3位(0.5)	3	2	2	3	0
総合得点	11.0	12.5	5.0	6.5	0.0

・優先するジャンルは、B.講習会・研修会、次にA.講演会が多く、D.現場見学会、C.発表会がやや少ない結果になりました。

10. 優先するジャンル



11. 催しはどのような内容(タイトル・テーマ)をご希望

ご参加者	①
	1)地域活性化に繋がる地域における気候変動ビジネス(金融も含む)、2)気候変動ビジネスに繋がる産官学民の連携戦略、3)堤防(あるいは盛土(宅地盛土も含む))の強靱化など。
	② 環境問題と災害リスク対応に関する内容で、両者の相関関係に踏み込んだ議論ができれば更に良いと思います。
	④ 内容は今のままで良いと思う。そこから具体的な活動に結び付くことを期待している。
	⑤ 防災、減災。
	⑥ 防災減災対応技術・建設DX。
	⑧ 防災・減災のハードとソフトの両方の実践事例について。
	⑨ 掛け替えのない命を救う。
	⑫ 国土強靱化の対象となる実際の設計及び施工例等の紹介。

・催しのテーマは、防災・減災など地域国土強靱化が多く、堤防や救命など具体的な、かつ、設計・施工等の実践的・実践的な内容を希望される方が多かったです。更に環境問題では、ビジネスに繋がる産官学民の連携を希望されています。

12. 当団体の活動に対しまして、ご意見・ご感想をお書きください

ご参加者	①
	LRRIの認知を広げるための自主研究の推進。
	② 産官学の連携、中でも民間セクターの活動を大切にすることを堅持して、今後も頑張ってください。
	③ 感想を記入するときは、集計しやすいように、googleformやエクセルがよいのではと感じました。
	④ 内容は今のままで良いと思う。そこから具体的な活動に結び付くことを期待している。
	⑧ 特にございませんが、今後ともよろしく願いいたします。
	⑫ 事務局様にはご多忙の中、感謝いたします。交流会の最後での一言のお時間をいただき、感謝いたします。

・自主研究の推進、民間セクターの活動を大切にすることを堅持、具体的な活動との結び付き、発言機会の確保など多くのご意見をいただきました。LRRIの今後の活動に活かされることを、期待し、確信いたします。

・青字:事務局 岸田文貴